

職員による自己評価

A環境面  
活動と目的に合わせてスペースを設定し、落ち着いた環境で取り組めるように配慮しています。

B児童への支援内容  
毎月、ミーティング・カンファレンスの中で問題やその為の改善策を話し合い、その対策方法で子どもに対応してみる。スタッフ全員で共有し同じ支援をすることで混乱を防げる。

C関係機関との連携  
神奈川区の連絡会が年4回程あり様々なテーマで勉強会やワークをしています。養護学校の地域担当の先生も参加しています。

D保護者への説明責任・信頼関係  
どんぐりん通信で毎月のお知らせ、報告、スタッフ紹介、プログラムなど掲載したものをお渡しします。利用時の連絡帳で子どもの様子や活動内容を伝えています。

E非常対応  
年2回避難訓練、防災のお勉強  
活動の一環として防災センター見学。  
「どんぐりん非常災害時の対応について」  
保護者へ配布。防災紙芝居など

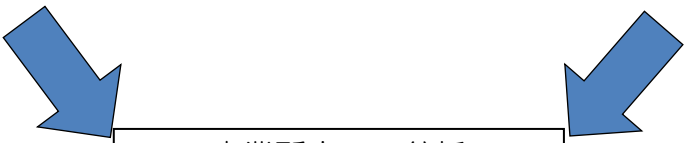
保護者による評価

A環境面  
・道路に面してなく外に出ても危なくない。周りの環境がいい。  
・手すりバリアフリー、重心の子がいないので問題ない。

B児童への支援内容  
・毎回どんぐりんへ行くことを楽しみにしています。  
・安心してお任せできる。  
・毎回送迎時に詳しく伝えて頂き、解決案を出して頂いたり、褒めて頂いたりしています。  
・スタッフの中に子どもへの注意が厳しい方がいると耳にした。  
・保護者会は必要ない。

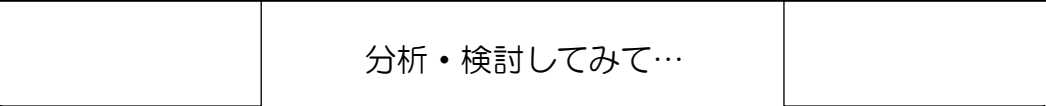
C事業所からの情報発信  
どんぐりん通信を見て喜んで行きます。  
どんぐりん通信で予定がわかるので、子どもが楽しみにしています。

D非常対応  
避難訓練実施2回、(非常対策全員はいに○がありました)



事業所内での分析

**【共通点】**  
学校ではないので保護者会は必要ではない。という意見が多かったです。どんぐりんの場所が交通の便が悪く、面談やお迎えも車で来所がほとんどです。どんぐりんとしても保護者会を前向きに考えたいが車を駐車できるスペースもなく現実的に厳しいのが現状です。  
保護者会はできませんが、保護者様との面談で様々なお話をさせていただいています。



分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・個別療育、週ごとにプログラムを実施して子ども達が楽しめるような企画を立案実施している。(運動・製作・ことば学習・音楽など)
- ・毎月のミーティング、カンファレンスで子供たちの振り返り、問題点、対策、具体的に改善策を話し合い共有したことを日々の活動に反映している。
- ・昨年オムツトレーニングしていたが、毎回成功できている。など成功できていることが多々あり、訓練の繰り返しを大切にしている。

### 事業所の改善点

- ・非常災害用飲料水や保存食備蓄
- ・感染症対応マニュアル作成配布。
- ・スタッフの中に厳しい注意をする方がいるとの指摘から、スタッフ全体に子どもへのかかわり、注意の仕方は個人的な主観で対応しないよう周知していきます。

### 事業所の改善への取り組み

- ・毎日、朝の朝礼で子どもの人数、親御さんからの連絡事項、体調変化、お休みの理由、送迎の配置等を申し送りし、今日の活動の流れを伝えて、全員が把握し活動に入る。
- ・2階建てなので必ず声掛けを心掛けて、子ども達から目が離れないようにしています。
- ・神奈川区の連絡会での研修等の内容を報告をしています。
- ・毎日の子ども達一人一人の様子で変わったこと、出来たこと、など、気が付いたことを個々のストレンジスファイルに記入しています。児童発達支援管理責任者の個別支援計画に役立つ資料に役立つ目的があります。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

毎日の申し送り（朝礼）や毎月のミーティング・カンファレンス、日々の役割分担、注意事項などを共通理解することで事故防止に努めていきます。

神奈川区の連絡会で他の事業所とのかかわりも増えたので共同活動ができたらと考えています。

学校や大きな施設は保護者がつながる場として（役員活動含め）保護者会は必要だと思う保護者は多いが放課後等デイサービスに保護者会は必要ではないという意見が多いことを改めて認識しました

事業所名 放課後等デイサービスどんぐりん

担当者 管理者 新井裕子